

令和7年度 公益社団法人大学コンソーシアム石川 事業計画の実施状況

I 教務学生事業＜教務学生専門部会＞

1 シティカレッジ単位互換事業【自主事業】○

「いしかわシティカレッジにおける単位互換等に関する包括協定書」に基づき、学生の履修機会の拡大や県民に対する生涯学習の機会を提供

授業形態は、オンライン授業を拡充し利便性を図り、各高等教育機関の魅力ある授業（オンライン科目全ての科目について）の全国展開を実施

後期より、他県の大学コンソーシアムが開講する講義を受講できる広域単位互換ネットワーク（キャンパス・コンソーシアム函館、教育ネットワーク中国、大学コンソーシアム大阪、大学コンソーシアム京都、ふじのくに地域・大学コンソーシアム）に参加し、学びの場を拡充

① 授業科目数

年 度	合 計	前期開講科目	後期開講科目	通年科目
7年度	147 (39)	75 (19)	72 (20)	0
6年度	98 (47)	48 (21)	50 (26)	0

※表内の（ ）は、シティカレッジ開講科目数（内数）を示す。

② 受講者数 (3/31 現在)

年 度	合 計	学 生	社会人 [シティカレッジ]	前年比
7年度前期	2,276 (242)	2,243 (209)	33	+142
7年度後期	1,852 (493)	1,801 (442)	51	+232
7年度計	4,128 (735)	4,044 (651)	84	+374
6年度前期	2,134 (228)	2,106 (200)	28	+511
6年度後期	1,620 (599)	1,416 (395)	204	+244
6年度計	3,754 (827)	3,522 (595)	232	+755

※表内の（ ）は、シティカレッジ受講者数（内数）を示す。

(前期)

・シティカレッジ

開講予定科目数：19科目 → 16科目開講（受講生なし3科目）

・提供機関開講科目

開講予定科目数：56科目 → 53科目開講（受講生なし3科目）

・各高等教育機関の魅力ある授業の全国展開を実施

提供授業科目は10科目

「石川県の市町」（11名）

滋賀県2、兵庫県1、長野県1、大阪府1、富山県1、東京都2、京都府2、宮城県1

「クラウド時代のハトソとレ」（1名）

富山県1

(後期)

・シティカレッジ

開講予定科目数：20科目 → 20科目開講

・提供機関開講科目

開講予定科目数：52科目

・広域単位互換ネットワーク提供科目：0科目（令和8年度前期から4科目提供予定）

2 e教育支援センター事業【自主事業】○

いしかわシティカレッジ授業の質向上のため、ICT 教育に係る情報技術・システムの支援、基幹システムである「UC I ポータル」の整備を進め、Web サイト等各種システムの運用・サポートを実施。Web 会議ツールを使用し、パソコン・スマホ・タブレットなどから受講が可能となる Web 配信授業を実施、継続（令和4年度後期から、Web 会議ツールの同時接続数を強化）

また、UCI ポータルの情報基盤の更新期限を見据え、令和5年度から令和6年度にかけて、UC I ポータルシステムを構築した。さらに、大学コンソーシアム石川のHPは、令和7年12月にリニューアルが完了した。

【オンライン授業に向けての整備内容等】

パソコン、Zoom ライセンス更新、Formzu ライセンス更新、Google Cloud Platform (GCP) 増強等

令和7年度シティカレッジ授業 授業形態別 科目数内訳（集中講義除く、開講のみ）

	対面授業	オンライン授業	対面・オンライン併用	計
7年度 前期	7	6	6	19
7年度 後期	8	4	8	20
計	15	10	14	39

3 金沢・いしかわフィールドワーク事業【自主事業】○

シティカレッジ単位互換事業の授業の魅力向上のため、金沢市及び県内にある歴史・文化施設、企業、自然、歴史遺産等の資産を活用し、フィールドワークを交えた実践型・体験型の授業を推奨・支援

他大学生にも開放するフィールドワーク型授業・個別プログラム（学都プログラムのスタンダードリスト掲載分）による県内の諸資産を活用した実践型・体験型授業を支援

機 関 名	科目名・プログラム名	開 講 時 期
金沢大学	海の動物の探索演習	前期

※令和6年度は1件

4 兼六園周辺文化施設の「学生のまちパスポート」事業【石川県・金沢市との連携事業】○

「学都石川」の機運醸成と学生による中心市街地の活性化を目的に、石川県と金沢市が連携し、新入生が兼六園周辺の県・市の文化施設に1年間無料入館できるパスポートを発行

デザインを学生アルバイトに委託、印刷業者を変更、配付作業等を見直すことにより経費を削減
利用者数 4,315人（3月末現在）（令和6年度 3,933人）

5 障がい学生等支援共同サポートセンター事業【自主事業】○

各高等教育機関の障がい学生支援を支える事業として、各高等教育機関の障がい学生支援事業をサポートする啓発セミナーや障がい学生及び卒業生の集い等を実施

実施日時	テーマ	講 師	参加者数
令和7年9月26日（金） 14:00～16:00	第16回障がい学生支援に関する情報交換会	—	8
令和8年1月7日～ （オンデマンド） 収 録：令和7年12月2日 （火）16:00～ 金城大学にて撮影	第18回障がい学生支援セミナー 「障害のある学生への支援について」	講 師：武居 渡（金沢大学人間社会研究域学校教育系（学校教育学類担当）、石川県障がい学生等共同サポートセンター長）	48

※1/7開催のセミナーは公益社団法人大学コンソーシアム石川教務学生専門部会による「石川県障がい学生等共同サポートセンター事業」の一環および金城大学主催のFD研修として実施されるものです。

6 イベント参加

イベント名：金沢プライドウィーク2025（3年連続の出展）

実施日：令和7年10月5日（日）

場所：しいのき緑地

内容：金沢大学

ダイバーシティ推進機構の紹介、LGBTQ+に関する取組み紹介
公立小松大学

LGBTQ+に関する取組み紹介

北陸大学

社会学・ジェンダー論が専門の相原ゼミの紹介、学生が取り組んでいる卒業研究の紹介

II 情報発信事業＜情報発信専門部会＞

1 広報事業【自主事業】○

「大学コンソーシアム石川概要」、「石川県の大学ガイドブック」などの広報誌を発行。また、広報活動の強化及びホームページを充実

① 「石川県の大学ガイドブック2025」の発行：令和7年5月

② 「大学コンソーシアム石川（概要パンフレット）」の発行：令和7年6月

③ ホームページの充実

2 石川県高大連携セミナー事業【自主事業】○

高等学校の教員と高等教育機関の教員・入試広報担当者との間で、高校教育及び大学等の教育研究内容等について相互理解を深める場を開催

セミナー名：石川県高大連携セミナー2025

実施日：令和7年10月10日（金）15時10分～16時30分

場所：石川県教員総合研修センター1階大研修室

内容：「公立小松大学の国際化-課題と取り組み-」

公立小松大学 学長補佐 小原 文衛

「ジェンダー多様性を男性の立場から考える」

石川県立大学 准教授 石倉 瑞恵

参加者：高等学校51名 高等教育機関8名

3 出張オープンキャンパス事業【自主事業】○

県内の高等教育機関で学ぶ意義について情報発信するため、高等教育機関が連携して北陸3県の高等学校及び石川県内の中学校へ出向き、模擬授業を実施（2月2日現在）

実施校	実施日	出席者	派遣高等教育機関	講座数
星稜高等学校	5／24	22	公立小松大学（1） 金沢星稜大学女子短期大学部（1）	2
	6／28	43	北陸先端科学技術大学院大学（1） 金沢星稜大学（2）	3
	7／12	46	金沢美術工芸大学（1） 金沢医科大学（1）	2

	9 / 2 7	4 0	金沢学院大学 (1) 金城大学 (1)	2
	1 0 / 1 8	2 9	金沢学院大学 (1) 金城大学 (1) 金沢工業大学 (1)	3
	1 2 / 1 3	3 9	石川県立大学 (1) 公立小松大学 (1)	2
石川県立志賀高等学校	6 / 4	3 2	石川県立大学 (1)	1
石川県立羽咋高等学校	7 / 3 1	2 0	石川県立看護大学 (1)	1
	8 / 2 0	3 2 4	金沢大学 (6)	<u>1 2</u>
富山県立八尾高等学校	9 / 5	1 0 2	公立小松大学 (1) 金沢工業大学 (1) 北陸大学 (1) 金城大学 (1)	4
福井県立武生高等学校	1 0 / 2 4	2 0 0	金沢大学 (7) 石川県立大学 (1)	8
仁愛女子高等学校	1 1 / 2 1	3 5 4	北陸先端科学技術大学院大学 (1) 金沢大学 (3) 石川県立大学 (1) 北陸大学 (1) 北陸学院大学 (1)	<u>1 4</u>
富山県立呉羽高等学校	1 2 / 1 2	1 5 7	金沢大学 (4) 石川県立大学 (2) 金沢学院大学 (4)	7
富山県立高岡南高等学校	1 2 / 9	8 6	金沢大学 (2) 金沢星稜大学 (2)	4
石川県立金沢錦丘中学校	2 / 1 8	2 4 0	北陸先端科学技術大学院大学 (2) 石川県立看護大学 (1) 石川県立大学 (1) 金沢美術工芸大学 (1) 金沢工業大学 (1) 金沢医科大学 (1) 北陸大学 (2) 金沢学院大学 (2) 北陸学院大学 (1) 金沢学院短期大学 (1)	<u>2 6</u>

延べ15校 (18) ※

延べ91講座 (100) ※

※かっこは前年実績

4 学都石川魅力発信推進事業【石川県補助金事業】○

4-1 SNSを活用したPR強化

Instagramを活用し、県内の大学紹介やオープンキャンパス情報の投稿と広告実施

広告実施期間：令和7年6月1日(日)～8月31日(日) (92日間)

対 象 年 齢：35～54歳の男女 (保護者層)

広 告 種 類：AD1 フィード広告 (動画)、AD2 コレクション広告 (画像)

AD3 Youtube広告 (動画)

発 信 地 域：関西・東海・中部

大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、静岡、愛知、三重、岐阜、長野、
新潟、富山、福井

4-2 県外高校の教員招聘

新入学生獲得の一助となるよう、学都石川の伝統や先進性を県内外に積極的に発信する。県外の高校教員を招聘し、大学等の特徴の紹介、施設の案内、充実した石川県の学びの環境、生活環境の紹介及び、情報交換会を実施する。(対象地域：石川を除く中部・関西・東海)

名 称 : 「学都石川」高校教員キャンパスツアー

実施日 : 令和7年10月6日(月)、7日(火)の1泊2日

参加者 : 44名

参加教員の高校所在地:

新潟、富山、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良

対応大学: 金沢大学、石川県立看護大学、石川県立大学、金沢美術工芸大学、金沢工業大学、金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部、北陸大学、金沢学院大学・金沢学院短期大学、金城大学・金城大学短期大学部、かなざわ食マネジメント専門職大学、公立小松大学(情報交換会)

4-3 高校生・保護者を対象としたキャンパスツアー

新入学生獲得の一助となるよう、富山県・福井県、石川県の高校生・保護者を対象としてキャンパスツアーを実施する。大学等の特徴の紹介、施設の案内、生活環境の紹介等を実施し、キャンパスライフを体感してもらうとともに保護者に対して事前にキャンパスを確認することによる安心感を醸成する。

名 称 : 「学都石川」高校生・保護者向けキャンパスツアー

実施日 : 令和7年7月30日(水)、8月7日(木)、8月27日

申込者 : 71名

対応大学: 金沢大学、金沢工業大学、金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部、北陸大学、金沢学院大学・金沢学院短期大学、金城大学・金城大学短期大学部、公立小松大学

5 文化系芸術祭の開催【自主事業】○

文化系学生の学びを公開、情報発信するとともに、大学コンソーシアム石川会員機関の学生間の交流の場として、文科系芸術祭「学都石川」まちなか芸術祭を開催。なお、昨年度から、学生の部に加え、高等教育機関の部を設けて開催し、県民へ高等教育機関を紹介

【企画立案】金沢美術工芸大学 2年生・1年生

【開催期間】令和7年12月5日(金) ～ 7日(日)

【会場】しいのき迎賓館

作品展示 ギャラリーA・ギャラリーB・イベントホール

ワークショップ・ミニコンサート しいのきプラザ

出展作品数: 43作品

参加大学: 学生の部: 金沢大学、金沢美術工芸大学、金沢星稜大学、金沢学院大学

機関紹介: 金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、石川県立看護大学、

金沢美術工芸大学、公立小松大学、北陸大学、金沢学院大学・

金沢学院短期大学、金城大学短期大学部、北陸学院大学、かなざわ

食マネジメント専門職大学、石川工業高等専門学校

来場数: ギャラリーA 290名

ギャラリーB 261名

イベントホール 226名

ミニコンサート 45名

ワークショップ 15名

Ⅲ 地域連携事業＜地域連携専門部会＞

1 大学・地域連携アクティブフォーラム開催事業【自主事業】○

地域課題研究ゼミナール支援事業の活動報告会を開催

日 時：令和8年2月21日（土）9時30分～16時

場 所：金沢市文化ホール2F・3F 2会場同時開催（オンライン同時配信）

参加者：学生、教職員、コメンテーター、連携地域関係者、一般等

コメンテーター：西村和也 氏（ISICO能登産業復興相談センター）

前田英史 氏（(株)QRインベストメント シニアアソシエイト）

2 高等教育機関及び学生による地域貢献活動の実態調査事業【自主事業】○

県内における高等教育機関・学生等による地域貢献活動の実態調査を行い、その結果を広く活用していただけるよう、データベース化しホームページで公開中

3 地域課題研究ゼミナール支援事業【石川県委託事業】○

県内の高等教育機関のゼミや学生グループ等と地域団体等が、教育資質の向上と地域の活性化のため、連携して行う地域課題解決のための活動を支援する事業を行う。「地域からの要望」は、県内に本社や事業所がある地元企業単体での申請も可能とする。

令和7年度は「通常枠（旧地域共創支援枠）」と令和6年能登半島地震からの復興復旧に向けた活動を対象とした「復興課題枠」の2枠で実施する。

① 通常枠

地域団体等と共に活動の計画・目標を定め、ワークショップ等を地域で実際に実施し、明確なアウトプットの達成を目的とした取組みに対して支援

② 復興課題枠

令和6年能登半島地震からの復旧復興を目的とした取組みに対して支援

通常枠 採択一覧（6件）＜新規1件、継続5件＞

No.	市町名	連携団体等	課題名（テーマ）	新規/継続	指導教員
1	野々市市	野々市市 野々市バス	I C Tを活用したコミュニティバス等の情報発信	5年目/ 5年計画	金沢工業大学 向井宏明
2	野々市市 白山市	野々市市 白山市	地域と考える、薬と健康 高齢者医療費抑制に向けた医薬品適正使用の推進	3年目/ 3年計画	金沢大学 石田奈津子
3	小松市	小松市埋蔵文化 財センター	「加賀立国1200年」を契機とした地域の歴史P R と学びの場創出	4年目/ 4年計画	金沢学院大学 戸根比呂子
4	金沢市	かなざわっ子 nikoniko倶楽部	こどもの居場所と発達障害（特性）	1年目/ 2年計画	金沢学院大学 広根礼子
5	白山市	白山市	女性活躍の推進に関する課題解消に向けた取り組み	2年目/ 3年計画	金城大学 齊藤実祥
6	白山市	e-cruttto 白山市	観光資源としての手取キャニオンロード自転車道 とその可能性の再発見	2年目/ 2年計画	金城大学短期大学部 矢澤建明

復興課題採 採択一覧（１９件）＜新規１３件、継続６件＞

No.	市町名	連携団体等	課題名（テーマ）	新規/継続	指導教員
1	輪島市	輪島ファーストペンギン	能登復興に係る広域連携ネットワークの構築	1年目/ 1年計画	金沢大学 原田魁成
2	珠洲市	能登半島地震 復旧・復興本部	珠洲市蛸島町における仮設住宅環境支援プロジェクト（GAPPA noto）の実践	1年目/ 3年計画	金沢大学 白石英巨
3	津幡町	井上地区まちづくり 協議会設立準備会	災害避難場所の生活用水の確保	1年目/ 3年計画	石川高専 大橋慶介
4	能登町	白丸公民館 能登町教育委員会	能登町白丸地区仮設住宅で暮らす住民の交流促進 と心身の健康維持・増進	1年目/ 2年計画	金城大学 金谷雅代
5	輪島市	輪島市	輪島市三井地区仮設住宅の住環境改善支援	1年目/ 3年計画	金沢工業大学 竹内申一
6	穴水町	穴水町	被災高齢者等の自立支援	2年目/ 3年計画	石川県立看護大 垣花渉
7	能登町	能登町	公民館を拠点とした仮設住宅等の生活環境	1年目/ 3年計画	金沢工業大学 下川雄一
8	七尾市	垣吉町第一団地 自治会	垣吉町第一仮設住宅団地における住環境改善と 住民の能動的なコミュニティ形成の促進	1年目/ 3年計画	金沢工業大学 藤井健史
9	志賀町	東増穂東部地区み らい活性化協議会	震災後の空き家・放棄地点検による危機意識の共 有と地域の方向付け	1年目/ 1年計画	石川県立大学 住本雅洋
10	輪島市	輪島市地域づく りNPO	輪島市における能登半島地震からの復興	1年目/ 3年計画	金沢大学 大友信秀
11	能登町	奥能登食材流通 機構	「食べて復興」能登応援プロジェクト	1年目/ 3年計画	北陸大学 坂口雄介
12	七尾市	きたまえJAPAN	七尾市の人口減少と能登地域の衰退	4年目/ 5年計画	金沢大学 松島大輔
13	輪島市	輪島市	輪島市門前浦上地区の仮設住宅等における生活環 境改善の支援	1年目/ 3年計画	金沢工業大学 宮下智裕
14	内灘町	産学研究所	ホリ牧場を基盤とした『稼ぐBCP』モデルの構築と 地域経済の強靱化	1年目/ 1年計画	金沢大学 松島大輔
15	能登町	春蘭の里	過疎高齢化と震災による地域の人口減少と地域住 民の活力の低下	2年目/ 3年計画	金沢星稜大学 神崎淳子
16	金沢市	NPOエコラボ	ソーラークッカー機能向上と復興への活用プログ ラムの開発	5年目/ 5年計画	金沢工業大学 藤田萩乃
17	中能登町	中能登町	どぶろくの魅力発信プロジェクト	2年目/ 2年計画	北陸先端大 島田淳一
18	能登町	能登みらい創造 ネットワーク	やなぎだ植物公園における子どもが遊べる場づく り	3年目/ 5年計画	金沢大学 豊島祐樹
19	輪島市	災害支援団体 Silbern	輪島の経済復興	1年目/ 3年計画	金沢大学 大友信秀

※高等教育機関名は一部略称表記

4 令和6年能登半島地震被災者等証言収集事業【石川县委託事業】○

令和6年能登半島地震の被害状況や復旧・復興の過程で得た教訓・ノウハウ等を後世に継承することを目的として、令和6年度は石川県戦略広報室が珠洲市を対象に証言収集事業を行った。令和7年度は当コンソーシアムが石川県から同業務を受託し、5つの市町（輪島市、七尾市、能登町、穴水町、志賀町）に対し、学生が証言収集事業を実施した。証言収集事業に参加した機関は以下のとおり

輪島市：金沢大学理工学域 藤井研究室

七尾市：金沢星稜大学人文学部 バイヤー研究室

能登町：金沢大学人間社会学域 原田研究室

穴水町：石川県立看護大学看護学部 垣花研究室

志賀町：石川工業高等専門学校建築学科 熊澤研究室

事業終了後は、石川県の「令和6年能登半島地震アーカイブホームページ」に掲載された。

<https://noto-archive.pref.ishikawa.lg.jp/story>

5 石川未来プロジェクト事業【自主事業】○

県内大学等の学生が、所属・学年を超えて石川県の未来を見据えて今すべきことの共通テーマ「未来テーマ：（「石川でよかった！ー幸せのまち、石川ー」）」にプロジェクトチームで取り組む。

コーディネーター（教員）が各プロジェクトチームのプロジェクト遂行のサポートを行う。令和7年度は、3大学4名の応募があり、定員数に満たないが、応募者全員の熱意がうかがえることから全員を採択

また、今年度は、昨年に引き続き学生がより自主的な活動をすることを念頭に、専任のコーディネーターを設けず、地域連携専門部会の委員でサポートグループを編成し、持ちまわりでチームをサポートする。

※ ミーティングの場所は、しいのき迎賓館 3F セミナールームB を基本（対面）とする。

◆キックオフ講義

開催日時：令和7年5月24日（土）13:30～15:00

場 所：石川県政記念 しいのき迎賓館 3F セミナールームB

テーマ：「プロジェクトマネジメント」

概 要：基本的な知識、リーダーシップ、プロジェクト活動のマネジメントについて

講 師：金沢工業大学 教育点検評価部長・教授 山岸 邦彰

◆オリエンテーション

開催日時：令和7年5月31日（土）13:30～16:30

場 所：石川県政記念 しいのき迎賓館 3F セミナールームB

テーマ：「チームビルディング」

内 容：チームの目標や理想を達成するため、チームにおいて個々の能力や個性を最大限に発揮できる環境作り

◆チーム、教員コアタイムミーティング（6月～2月）

地域連携専門部会の委員でサポートグループを編成し、持ちまわりでチームをサポート

◆中間報告会

開催日時：令和7年7月19日（土）14:00～15:00

場 所：石川県政記念 しいのき迎賓館 3F セミナールーム

内 容：チームごとの活動報告（チーム紹介、テーマ、活動計画、活動状況など）及びディスカッションや全体を通しての質疑、来場者からの示唆 等

◆成果報告会

日 時：令和8年1月24日（土）10:00～12:00

場 所：石川県政記念しいのき迎賓館セミナールームB

◆石川未来会議

日 時：令和8年2月28日（土）10:30～12:00

場 所：石川県政記念 しいのき迎賓館 3F セミナールームB オンライン同時配信（Zoom）

ゲスト：安江雪奈氏（株式会社計画情報研究所 代表取締役社長）

大鋸魁星氏（株式会社御祓川能登共創コーディネーター）

Ⅳ 教職員研修に係る事業＜教職員研修専門部会＞

1 教職員研修（FD・SD）事業【自主事業】○

先進的な取組みを進めている大学等の事例、大学教育・管理運営等についての基本的な考え方などを講演できる学識者を招聘し、教職員を対象に研修事業を実施する。

実施日	テーマ	講師名等	参加者
7月22日(火) 13:00～14:00	能登復興支援に関わる研究成果の社会実装	石川県立大学 教養教育センター 宮口 和義教授	14
7月22日(火) 13:00～14:00	生と向き合うために、まず自分を整える：大学教育に活かす漢方の実践	北陸大学 薬学部 劉 園英教授	9
10月21日(火) 13:00～15:00	学士課程の共通教育に求められるコンセプトと設計～金沢大学共通教育改革を中心に～	金沢大学 令和7年度第 回全学FD研修会との 共催	開催案 内のみ
11月6日(木) 10:30～12:00	大学に進学するヤングケアラーへの支援のあり方	北陸学院大学 幼児教育学科 松本 理沙 准教授	17
2月28日(土) 14:30～17:00	若手からできる大学改革～小さな一歩が組織を変える！～	学校法人常翔学園 摂南大学 教務課 嶺本朋希 氏	25

後援（周知のみ）

- ・「初年次教育学会第18回大会」2025年8月5日
- ・「JADE東海・北陸支部2025年度大会」2025年12月20日

令和6年度は、6回の研修会を開催し教員77名、職員65名、計142名が参加

Ⅴ 産学官連携人材育成に係る事業＜産学官連携人材育成専門部会＞

1 学都いしかわグローバル人材育成支援制度【寄附】○

日本人留学生・外国人留学生と企業をつなぎ、石川のグローバル化を総合的に支援することを目的に、以下のプログラムを実施

① Take-Off Program（日本人学生の留学支援）

石川県の地域活性化に寄与しようとする意欲ある学生の実践的な留学を支援し、グローバルな知識と能力を高め、地域企業が求める人財として育成

② Landing Program（外国人留学生の地元定着等）

石川県で学ぶ外国人留学生が石川県内の企業に就職することを支援

③ Global exchange（グローバルカフェ）Program（日本人留学生・外国人留学生と企業を繋ぐ）

石川県内のグローバル情報の共有と就職希望者の情報の共有等を支援

＜Take-Off Program（日本人学生の留学支援）＞

●R7募集分

・スケジュール

一次審査（書類選考）・第1回選考会：令和7年4月24日（木）午後2時30分～3時40分

二次審査（面接等）・第2回選考会：令和7年5月25日（日）午後4時30分～5時00分

・応募人数：5名※うち、1名一次審査前に辞退

・採用人数：2名

・派遣予定先：デンマーク、ニュージーランド

・留学期間：令和7年9月1日～令和8年1月31日、令和8年2月16日～令和8年3月31日

[壮行会・いしかわグローバルカフェ]

・日時：令和7年7月20日（日）13:00～14:30

・場所：石川県政記念しいのき迎賓館3F セミナールームB

・参加人数：24名

[事前研修]

・日時：令和7年7月20日（日）15:00～16:00

・場所：石川県政記念しいのき迎賓館3F セミナールームB

・参加人数：11名

●R 8 募集分

・スケジュール

応募締め切り：令和7年10月31日（金）

一次審査（書類選考）・第1回選考会：令和7年11月21日（金）

二次審査（面接等）・第2回選考会：令和7年12月21日（日）開催

・応募人数：1名

・採用人数：1名

・派遣予定先：英国、オーストラリア

・留学期間：令和8年4月7日～令和8年7月25日

[壮行会・いしかわグローバルカフェ]

・日 時：令和8年3月13日（金）13：30～

・場 所：石川県政記念しいのき迎賓館3F セミナールームA

[事前研修]

・日 時：令和8年3月13日（金）15：00～

・場 所：石川県政記念しいのき迎賓館3F セミナールームA

[協賛企業寄附依頼]

11月から協賛企業に現状報告とともに寄附依頼を開始。予定。

[その他]

客観的で精度の高い審査を実施するため、審査方法を見直した。

2 学都いしかわグローバルチャレンジプログラム○

学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成プログラムを継承し、各大学の教育目標を超えた視点で、大学間の連携や地域との共創を促進するプログラムを実施

令和7年度学都いしかわグローバルチャレンジプログラムの適用科目（6大学7プログラム）

・（継続）金沢大学 国際学類 グローバルチャレンジプログラム

・（継続）石川県立看護大学 ローカルチャレンジプログラム

・（継続）石川県立看護大学 グローバルチャレンジプログラム

・（継続）石川県立大学 ローカルチャレンジプログラム

・（継続）金城大学 ローカルチャレンジプログラム

・（新規）かなざわ食マネジメント専門職大学 ローカルチャレンジプログラム

・（継続）石川工業高等専門学校 ローカルチャレンジプログラム

3 学都いしかわエクスターンシッププログラム ○

高等教育機関側から教育的インターンシップを企業に依頼する形式ではなく、企業が中心となって実施する就業体験に、教育的要素を付加する形式として実施する。就業活動を通し社会人として必要な能力を高め、自主的に考え行動できる人材を育成

① いしかわインターンシップ&仕事研究フェス 2025 参加

令和7年5月3日（土）

② エクスターンシップ認定申請企業説明会

・第1回：令和7年4月24日（木） 6社

・第2回：令和7年6月20日（金） 1社

・第3回：令和7年7月25日（金） 1社

③ 事前研修

・実施日：7月28日（月）、7月29日（火）

・参加人数：3名 金沢大学、金沢美術工芸大学

④ 学生実習プログラム

・実施企業数：2社

・応募学生数：3名

・実施学生数：2名

⑤ 申請及び認定企業

・申請企業数：8社

・認定企業数：8社

・認定取消企業数：1社

4 留学生の県内就職支援【外部資金】

外国人留学生の地元定着を進めることを目的として中島記念国際交流財団に助成を申請し、採択された（申請名は「外国籍労働者と留学生の交流の場創出と人的ネットワーク形成」）。

加盟機関の留学生に参加を呼び掛け、12月3日（水）実施した。

当日は、4大学（金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、公立小松大学及び北陸大学）から13名（中国、インドネシア、ミャンマー、バングラデッシュ）の留学生が参加し、小松市内の工場（株式会社小松電業所）を見学した。その後、来春県内企業に就職予定の留学生が就職活動の体験談を発表し、留学生採用に関心のある企業5社を交えて、安宅町の旧北前船主邸である瀬戸又において意見交換会を行った。

なお、実施にあたっては小松市、小松商工会議所、小松市国際交流協会の協力を得た。

VI 能登半島地震復興に関する事業＜専門部会共通＞

1 学都いしかわ防災・復興ネットワークの業務 ○

① 能登半島地震復興支援セミナーの開催

令和5年度第5回理事会（令和6年3月11日開催）でセミナーの開催に関し承認されたことを受け、令和6年6月8日から開始（令和6年度は12回開催）。令和7年度も加盟機関の協力を得て、引き続き開催

- | | | |
|------|--------|--|
| 第1回 | 2月 6日 | 能登半島地震からの1年を振り返り、地域創造を考える。
馬場 千遥（珠洲市特定地域づくり事業協同組合）、
林 真紀（一般社団法人石川県医療ソーシャルワーカー協会理事） |
| 第2回 | 7月22日 | 能登復興支援に関わる研究成果の社会実装
宮口 和義（石川県立大学 教授） |
| 第3回 | 10月17日 | 災害と復興のメンタルヘルス
金子 宜之（日本大学医学部医学科 准教授） |
| 第4回 | 10月31日 | 東日本大震災から考える縮減社会の災害復興
山下 博之（日本大学危機管理学部危機管理科 准教授） |
| 第5回 | 11月14日 | 平常時と災害時の生活環境と社会インフラ施設
仲村 成貴（日本大学理工学部まちづくり工学科 教授） |
| 第6回 | 11月19日 | 石川県の防災対策について（県政出前講座共催）
堀 史生（石川県危機管理部危機対策課課長補佐） |
| 第7回 | 11月22日 | 当事者意識を持った人財的災害復興
池田 幸應（金沢星稜大学 名誉教授） |
| 第8回 | 11月29日 | 能登半島地震の被災文化財の三次元計測について
足立 拓朗（金沢大学古代文明・文化資源学研究所 教授） |
| 第9回 | 12月 5日 | 守れ、文化財。羽咋市の文化財レスキューのとりくみ
中野 知幸（羽咋市教委文化財課羽咋市歴史民俗資料館 学芸員） |
| 第10回 | 12月10日 | 災害復興の史的比較から考える能登の未来
高原 耕平（金沢大学能登里山里海未来創造センター 特任准教授） |
| 第11回 | 12月15日 | 珠洲市にみる高齢・過疎地域における災害復興の課題と展望
信岡 尚道（金沢大学能登里山里海未来創造センター 特任教授） |
| 第12回 | 12月19日 | 令和6年能登半島地震における2年間の観光資源被害調査結果と観光復興の展望
川澄 厚志（金沢大学融合研究域融合科学系准教授） |
| 第13回 | 1月28日 | 令和6年能登半島地震一七尾市における文化財の被害と復旧の状況－
北林 雅康（七尾市教育委員会スポーツ・文化課文化財復旧保全対策室
学芸員） |

さらに、昨年に引き続きシティカレッジの講義「石川県の市町」における能登半島地震復興に関する講義において、「特別編 ～首長が語る復興への想い～」としてオンデマンド配信を実施（珠洲市長、輪島市長及び七尾市長の講義分を掲載）

② 情報ハブとしての機能

地震や豪雨で被災された地域の地方公共団体の職員が諸事情により辞職されること、新規採用に関してはなかなか採用に至らないことを踏まえ、当コンソーシアムのホームページに職員の採用情報を掲載した。対象は、厚労省の事業で地震豪雨・半島過疎臨時特例の対象地域となっている輪島市、穴水町、珠洲市、能登町、七尾市、中能登町、羽咋市、志賀町、宝達志水町。新規採用の募集時期が終了したとの理由で掲載を希望しない市町もあるが、現在は輪島市、珠洲市、穴水町、志賀町の情報を掲載している。

また、奨学金の紹介（ジョージワシントン大学のSUGAIプログラム）を実施し、しいのき迎賓館でオリエンテーションを実施

さらに崇城大学からの寄附金を原資として、学生が被災地支援活動等を行う場合に要する経費の一部を助成する「令和6年能登半島地震学生被災地支援活動 助成金事業」を実施（1グループに支援）

③ 能登分室の運営

令和6年度臨時総会（書面附議）で能登地区における復旧・復興のための活動拠点の設置が承認され、8月26日より「のと里山空港」ターミナルビル4階において「能登分室」の供用が開始。

利用件数は以下のとおり

令和6年度 30件

令和7年度 73件

これらの活動を評価され、令和6年12月10日に石川県知事から感謝状をいただいた。

VII 管理・運営関係

開催日：令和7年6月18日（水）

場所：金沢ニューグランドホテル

協議事項：令和6年度事業報告及び収支決算について
令和7年度事業計画及び収支予算について
広域単位互換ネットワークへの参加について
シティカレッジ授業の全国展開について
石川未来プロジェクトについて
学都いしかわグローバル人材育成支援制度について
20周年記念事業について

② 理事会、運営委員会、専門部会の開催

大学コンソーシアム石川の定款に基づき、適宜開催

2 大学コンソーシアム石川の公益社団法人対応

令和7年度事業計画書等に係る提出書類

- ・事業計画、収支予算書

令和6年度事業報告等に係る提出書類

- ・財産目録、役員等名簿、社員名簿、正味財産増減計算書、事業報告書、監査報告書、運営組織及び事業活動の状況の概要等、公益目的事業比率の算定総括表、納税証明書等

令和7年施行公益法人制度改革への対応

- ・行政庁への対応

令和7年4月1日付けで「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」が施行され、外部理事・外部監事各1名を設置する必要があるため、候補者の推薦依頼を理事会で行い、その結果を踏まえ選任を行う。

- ・会計基準への対応

令和9年度から新会計基準での決算を行う方向で検討を行った。令和9年度から新会計基準での決算を行うにあたり、令和8年度中に新制度対応の会計システムに更新することとし、データ移行等の準備を進めた。

3 全国大学コンソーシアム協議会等への参加

全国大学コンソーシアム協議会の役員及び運営委員として、会の発展に寄与するとともに同会が開催する全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加

全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム

開催日：令和7年8月30日（土）・31日（日）

場 所：神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス

・ポスターセッションに参加し、大学コンソーシアム石川の事業を紹介

4 運営体制の充実を図るための取組

当コンソーシアムでは、昨年10月から部会長と事務局の定例打合せを試行的に実施してきたが、今年度より本格的に実施することにより、情報の共有化と事務局では判断の難しい事案に関する意思判断の迅速化を図っている。

※ 公益社団法人及び公益社団法人の認定等に関する法律等の改正（令和7年4月1日施行）により、事業報告として「各事業年度における公益目的事業の実施状況」及び「当該公益社団の運営体制の充実を図るための取組」を記載することとなったため、参考として記載した。

5 その他 ○

会長が「産学官石川復興プロジェクト会議」に参加している。また、事務局から「石川県関係人口官民連携協議会」、「能登駅伝開催基本計画策定ワーキング」、「旧新堅町小学校跡地整備基本計画構想検討懇話会」に参加している。

事項の横に付した記号の意味は以下のとおり

○：R7事業計画に記載された事項で、実施済又は実施中を示す

△：R7事業計画に記載された事項で、計画中を示す

×：R7事業計画に記載された事項で、実施中止を示す

記号の付されていない事項：R7事業計画に記載されていない事項で、実施した事項を示す